

県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。

鹿児島県立図書館

平成30年11月15日 発行

第92号（毎月15日発行）

<http://www.library.pref.kagoshima.jp>

Tel : 099-224-9511

ホットニュース

読書活動に対する意識の高揚と図書館の利用促進を図り、親子で本の世界を味わうことの楽しさや大切さを実感することを目的として「冬の読書フェスティバル」を開催します。

1 期間 平成30年12月5日（水）から12月16日（日）まで

2 内容

(1) おはなしのじかん冬のスペシャル

ア 日時 平成30年12月16日（日） 14:00～15:05

イ 場所 県立図書館大研修室

ウ 対象 乳幼児から

エ 内容 大型絵本の読み聞かせ、指あそび、お楽しみ抽選会等

(2) おはなしのじかんスタンプラリー

ア 場所 児童文化室内集会室

イ 対象 おはなしのじかん参加者全員

ウ 内容 期間中の「ふゆいろのおはなしのじかん（2回）」
「おはなしのじかん冬のスペシャル」の全3回でスタンプラリーを実施し、2回以上参加した利用者
に記念品を贈呈



【昨年度のおはなしのじかん冬のスペシャルの様子】



図書館で探そう、調べよう!

鹿児島県立図書館の前庭を散策すると、松の木の根元に「感動は人生の窓を開く」と書かれた「椋鳩十文学碑」があります。鹿児島の文化・文学・教育の振興に尽くされた椋鳩十先生の功績をたたえ、昭和63年6月に椋鳩十碑建立委員会から寄贈されました。

椋鳩十先生は、本名を久保田彦穂といい、永年にわたり鹿児島県立図書館長を務められ、「親子20分読書運動」を全国に広げる活動や、戦後の図書館活動に尽力されました。多くの児童文学作品は、皆さんも楽しく読んだ経験があるのではないのでしょうか。さらに詳しく知りたい方に、次の本を紹介します。鹿児島県立図書館長時代のことは『鹿児島県立図書館史』（1990年）や『聞き書き・椋鳩十のすべて』（1983年）、プロフィールや作品について調べたいときは『椋鳩十の世界』（1982年）や『椋鳩十の軌跡』（1989年）などがあります。

現在、当館1階ミニ展示コーナーでは「ふるさと文学交流」展を実施中です。こちらでも、鹿児島県からは海音寺潮五郎、椋鳩十お二人の作品を展示中です。また、児童文化室の椋鳩十コーナーや2階閲覧室の郷土資料コーナーにも関連図書がありますので、是非御活用ください。

《一般書》11月9日（金）

新着図書案内

《児童書》11月23日（金）

○『世界で最も美しい12の写本』

クリストファー・デ・ハーメル/著 青土社

○『海の歴史』ジャック・アタリ/著 プレジデント社

○『知られざる北斎』神山典士/著 幻冬舎

○『ことことこーこ』阿川佐和子/著 KADOKAWA

○『ゴンちゃん、またね。』ビートたけし/作・画 文藝春秋

○『かならずお返事書くからね』マーティン・ギャング/著 PHP研究所

○『やきいもやゴンラ』ながいいくこ/作 くすはら順子/絵 ポプラ社

○『絵本をつくりた人へ』土井章史/著 玄光社

○『107小節目から』大島恵真/著 講談社

○『ねこの商売』林原玉枝/文 二又英五郎/絵 福音館書店

催し物の御案内

○ 一般閲覧室ミニ展示

10月19日(金)～12月16日(日)

「ふるさと文学交流」展

ふるさと知事ネットワークに参加する各県の代表的作家たちのパネルの紹介と関連する図書の展示

○ 児童文化室ミニ展示

10月23日(火)～11月25日(日)

「マンガの世界を楽しもう」

手塚治虫の生誕90周年に合わせ、手塚治虫や漫画に関する本の紹介

12月7日(金)～1月22日(火)

「和の心を育てよう」

伝統工芸や日本の文化に関する本の紹介

問合せ先：奉仕課企画指導係 TEL099-224-9514



図書館職員のつぶやき

図書館の業務に携わって4年目。その中でよく感じるのが「もっと早くここにあるたくさんの本たちと出会っていたら、私の人生は違っていた」ということです。朝、本を順番に並べる仕事をしていると、読みたい本が次々に現れてきます。そして、思わず手を止めてぱらぱらとページをめくる。時には、目に飛び込んできた文字に一気に心を奪われ、つい読み入ることも。

人の人生は「出会い」によって創られます。図書館はまさに、その「出会い」を創出する場。だからこそ、一人でも多くの方に図書館に足を運んでもらうこと。そして、求める本とのより良き出会いの手助けをすること。それには、もっともっと図書館の良さ・素晴らしさを知ってもらうこと。その使命を果たすために、まだまだ図書館はわたしたちは成長していくことが大切だなあ、そう感じる4年目の晩秋です。

県立図書館に届いた『宝本エピソード』

今回の宝本は、菊田まりこ/作の『いつでも会える』（学研プラス）です。

読書指導の研修会に参加した時、読み聞かせ講座を担当された先生が読んでくださり、涙が止まりませんでした。それ以来、自分も折に触れ、読み聞かせをする際の一冊に選んでいます。大型判もあり、読み聞かせの人数によって使い分けています。

先日、13年間大切に育てていた愛犬が亡くなりました。本の中身とは立場が逆になりましたが、シロがみきちゃんにいつでも会えるように、私も目を閉じて愛犬のことを考え、いつでも会えているように感じながら日々を過ごしています。



日本の昔話「かさこじぞう」からのクイズです。

ゆきの日におじいさんがおじぞうさまにかけてあげたものは、次のどれでしょう。

- ①コート ②かさ ③みず

ヒント

あたまにかぶせるものは？

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、12月14日(金)までにに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「①こうしじま」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
11月	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21★	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	
12月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12★	13	14	15◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白抜)：9時～17時

■ は、休館日。(11月26日～12月6日：特別整理期間による休館)

★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)

◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)

◇ は、一般閲覧室新着図書の日(11月20日、12月7日【予定】)

□ は、児童文化室新着図書の日(11月23日)